

図書館・図書室の今

ー必要とする情報を伝えるためにー



市の図書館・図書室の数は45施設となり、蔵書数は250万冊を超えました。図書館には、本を読んだり借りたりするほかにも、来館した方が求めている情報を探し出し、膨大な蔵書の中からの的確な資料を案内するという役割もあります。インターネットの普及などにより情報量が増えていく中、図書館はこの役割をさらに充実させていきます。



活用しよう!

市の図書館で行っている便利なサービス

調べもののお手伝いをします

レファレンスサービス

図書資料やデータベースを駆使し、相談に来た方と会話をしながら、希望に沿う資料を案内します。窓口だけでなく、電話や手紙でも相談できます。

[4月2日(水)からはインターネットでの受け付けも開始
ホームページ www.city.sapporo.jp/toshokan/reference/mailref/top.html]

司書にレファレンスサービスの
魅力を聞きました



中央図書館司書 さいさん

日常の素朴な疑問や仕事に関することなど、さまざまな質問を受けています。地域の情報にも強く、町内会の記念誌の作成や、講演会を頼まれた方が資料を求めて来館することも。図書館は数十年前の本や雑誌、新聞などの過去の情報も蓄積しており、インターネットでは調べられない情報もありますので、ぜひ利用してくださいね。

例えば

こんな質問に答えています

問. 雪まつりの観客数が知りたい

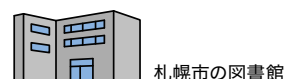
答. 新しいものであれば「平成25年度版札幌〇〇」に、古い記録であれば「さっぽろ雪まつり〇〇」という資料があります など



市外の図書館からも借りられます

図書の取り寄せサービス

市の図書館・図書室に所蔵していない本で、他の図書館にある場合は、取り寄せることができます。まずは図書館・図書室の窓口で相談を。



中央図書館では国会図書館のデジタル資料が見られます

国内の全ての出版物を保存する国会図書館。そこでデジタル化した資料のうち、今では絶版となった資料など約130万点を館内の端末で見られます。

図書館の本やCDなどの予約ができます

インターネット予約サービス

貸し出し状況の確認や、本を受け取る図書館の指定などもできます。

3月24日(月)からは検索する言葉の入力がしやすくなる「かんたん検索」が始まるほか、スマートフォン専用ホームページも開設します。

利用するには、事前に図書館・図書室でのパスワードの発行が必要です

本により親しんでもらうための行事も開催

絵本の読み聞かせや朗読会・講演会などを開催。子どもから大人まで楽しく学べる催しを行っています。



↑本を使ってヒグマの生態を学ぶ講座に子どもたちは興味津々

他にも催しがたくさん!

- 一日司書体験
- さっぽろ家庭読書フェスティバル など

次のページでは、市の中核的な図書施設である中央図書館のリニューアル情報を紹介!